

令和4年第3回いちき串木野市議会定例会にて可決（6月27日）

南九州西回り自動車道串木野 IC 出口及び市来 IC 出口 の合流地点における接触事故防止対策を求める意見書

鹿児島県いちき串木野市に位置する南九州西回り自動車道の市来インターチェンジは、平成14年4月に供用を開始し、平成17年3月から出口における鹿児島市方面からの上り車両と薩摩川内市方面からの下り車両の合流が始まりました。また、串木野インターチェンジは、平成17年3月に供用を開始し、平成19年3月から出口における上下線の合流が始まっています。

両インターチェンジの出口は、上下線がカーブ途中で合流するため非常に見通しが悪く、加えて道路の進入角度が鋭角でサイドミラーや目視での確認がしにくい形状となっていることから、合流の際には瞬時に判断が迫られる大変危険な合流地点です。

供用開始以降15年以上経過した現在でも、毎年接触事故が発生しており、この2地点だけで過去10年間に於いて14件の救急搬送があります。（いちき串木野市消防本部調べ）

このようなことから、自動車道を利用する多くの方から「合流地点が危ない」や「早急に改善が必要」との声が上がっています。早急に、標識設置や路面表示・カラー舗装などの整備や、表示板や警告灯などの運転者に対する注意喚起対策に加えて、徐行区間や並走区間などの対策も必要ではないでしょうか。

これ以上、接触事故や救急搬送を増やさないためにも、また、大切な生命や財産を失うことが無いよう、大事故が発生する前に対策が必要です。

国及び関係行政機関におかれましては、下記要請事項が速やかに行われるよう強く要請いたします。

記

1. 事故の発生原因を究明するため、実態調査を行ってください。
2. 根本的解決に向け、早急に改善策を講じてください。